

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	福祉課	事業No.	73
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H18	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	
	分野別計画		飯田市第4次障害者施策に関する長期行動計画		
			第6期飯田市障がい福祉計画・第2期飯田市障がい児福祉計画		
		飯田市地域福祉計画・地域福祉活動計画・飯田市子ども・子育て支援事業計画「子育て応援プラン」			
法令・例規等		障害者基本法・身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法・発達障害者支援法			
		障害者差別解消法・障害者優先調達推進法・障害者雇用促進法 バリアフリー法・障害者総合支援法・児童福祉法			
事業目的		対象	障がい児・者		
		意図	地域における安心した日常生活や社会生活		

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	・福祉まるごと相談窓口の開設により、複合的な課題のある相談に関係機関と連携して対応しました。 ・タクシー券の配布、タイムケア事業、コミュニケーション支援の各種事業を行いました。 ・「障がい者文化芸術作品展」を開催しました。 ・障がい福祉事業所が受注できる役務・物品を紹介する企業向けリーフレットを民間団体と協働で発行しました。 ・「東京2020パラリンピック採火式in南信州」の開催、パラスポーツであるボッチャの普及啓発に取り組みました。 ・ユニバーサルデザインの推進を目的として、広報いいた等での啓発及び市職員向け研修会を行いました。		相談支援事業・機能強化事業負担金				16,577
			地域生活支援拠点事業負担金				3,396
			日常生活支援事業給付費				17,206
			奉仕員等養成研修業務委託料				585
			点字・声の広報等発行業務委託料				528
			文化芸術活動の振興事業補助金				190
			ピアサポート活動支援事業費				27
			手話通訳者の設置				2,046
			手話通訳者等派遣事業				440
その他の経費				11,885			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	
	相談支援事業の利用件数	件	9,300	10,183			
	今後支援が必要となる障がい者の把握	人	20	10			
	障がい者文化芸術作品展等への参加者	人	600	600			
3年度決算(千円)	予算額	69,125	特定財源内訳及び補正事項				
	決算額	52,880	(国)特別児童扶養手当事務取扱交付金(定額)638千円、(国)地域生活支援事業補助金(1/2)2,779千円、(国)重層的支援体制整備事業補助金(1/2)1,102千円、(県)地域福祉総合助成金(1/2)3,682千円、(県)小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業補助金(1/2)30千円、(県)地域生活支援事業補助金(1/4)1,413千円、(県)重層的支援体制整備事業補助金(1/4)551千円 3→4 繰越明許費 6,080千円				
	財源の状況	国庫支出金	4,519				
		県支出金	5,676				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	42,685						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	3	1	3	6,229	5,929	会計年度任用職員人件費
2	1	3	1	3	10	1	7,389	6,892	障害者福祉一般経費
3	1	3	1	3	16	3	127	112	障害者居宅生活サポート事業費
4	1	3	1	3	0	0	23,987	17,268	障害者の日常生活支援事業費・小児慢性特定疾病日具給付事業費
5	1	3	1	3	20	2	6,080	0	障害者グループホーム等整備事業費
6	1	3	1	3	51	1	8,736	6,102	地域生活支援基本事業費
7	1	3	1	9	11	3	16,577	16,577	地域生活支援基本事業費
振り返り課題認識		・障がい者が地域で安心して生活できるように、飯伊圏域障がい者総合支援センターと連携した取組が必要です。 ・地域住民が障がいや障がい児・者について正しく理解し、お互いに地域の一員として支え合うことで、障がい児・者は地域で安心して暮らし続けることが可能となります。 ・パラスポーツの普及啓発や障がい者文化芸術作品展などの取組により、共生社会の実現を目指します。							
上記の課題解決のための有効策		・飯伊圏域障がい者総合支援センターが行う地域生活支援拠点整備事業が効果的な事業となるよう連携して取り組みます。 ・障がい児・者が積極的に社会参加できるように、その手段や機会の場の創出が必要です。 ・誰もが暮らしやすい環境を整備していくために、ユニバーサルデザインを意識した事業に取り組みます。							
次年度に向けての取り組み		・パラスポーツの普及啓発や障がい者文化芸術作品展を行い、障がい児・者への理解を深めるための活動を推進します。 ・地域生活支援拠点整備事業を活用し、今後支援が必要となる障がい者の実態把握に努めます。 ・ユニバーサルデザインを意識したトイレマップの作成に市民とともに取り組みます。							